

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年3月31日

所属・職名	商経学部 准教授	氏名	谷川 喜美江
研究課題	ICT化の進展と会計教育		
研究キーワード	ICT、会計教育	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>ICT化を背景に近年求められる会計教育は、会計帳簿の記入や日々の取引記録、決算書作成といった単に会計処理方法を教授する教育ばかりではなく、ICTを活用した処理及び税務申告・納税に対応可能であり、かつ、専門知識を有する人材の育成を可能とする教育が求められている。そこで、本研究では、このような我が国に求められる会計人材を育成しうる新たな会計教育に関する研究を行った。また、ICT化と会計教育について、学会報告も行った。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>1) 「税務分野における ICT 化の進展と会計教育に関する研究」谷川喜美江『会計教育研究』Vol.6、21頁～24 ページ、2020年3月、査読無</p> <p>2) 「大学における地方創生を担う人材育成に関する研究 - ICT 会計の将来的な活用を焦点として -」日本計画行政学会、2019年9月13日、徳島文理大学</p> <p>3. 主な経費</p> <p>ICT化・電子申告義務化が既に行われている諸外国と我が国の会計教育を調査・研究するため、文献の収集・分析のための書籍購入・印刷のためのプリンター購入費、及び資料整理のための文具及び消耗品購入のための費用を要した。また、他研究者との意見交換のために学会へ参加・報告を行うため、タブレット端末を購入するとともに学会所属のための学会年会費を要した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【その他】</p> <p>千葉商科大学会計教育研究所研究プロジェクト 2019年度～2020年度 共同研究 研究課題「税務分野における ICT 化の進展と会計教育に関する研究」 <small>(本文は1ページ以内にまとめること)</small></p>			